

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	15 まちづくりミーティング事業											
事業担当	所属	03020000 市長公室 秘書広報課					所属長	濱田 亜希子				
会計情報	事業コード	820215	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	02 文書広報費	会計	01 一般会計	決算付属資料	頁
施策体系	施策コード	010104	施策名	適切な情報の発信と共有により市民参画を促進する								
計画期間	開始年度	平成29年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名							
根拠法令等												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
R3現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合											
関連事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	市民団体等と市長が意見交換し、出された提案、要望などを市政に活かしていく。											
対象者	参加団体(20人×12回)	対象者数	240	単位あたりコスト	6.0							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	市長と市民等との「直接対話」の実施											
事業概要 (箇条書き)	市長と市民等との「直接対話」の実施											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容									
	二次公表時記載											

III 予算執行状況

区分	R1(評価前年度)	R2(評価年度)	R3(本年度)	R4(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	38	26	26	予算編成時記入 (3次公表時)
	② 補正予算	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	
	小計(①～③)	38	26	26	
予算財源内訳	① 一般財源	38	26	26	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	0	二次公表時記載	0	0
	② 配当予算	38	26	0	0
	③ 執行額	30	二次公表時記載	0	0
	④ 執行率	78.8%	二次公表時記載		
人機工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.20 / 0.00	0.18 / 0.00	0.18 / 0.00	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	1,600	1,440	1,440	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	1,630	1,440	1,440	0	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	開催回数	回	7 / 12	6 / 12	1 / 12	/ 12	12
			0	0 / 0	/ 0	/	0
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	参加者数	人	79 / 120	83 / 120	5 / 120	/ 120	120
	単位あたりコスト		0.1	0.4			
			/	0 / 0	/ 0	/	0
	単位あたりコスト		0.0				

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	市民の市政への参画・協働の機会として、その実施の必要性は高い。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	コストは必要最低限に抑えており効率的である。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	市民と市長との直接対話を通じて、相互理解や連携を深めていくことにつながる。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>直接対話により、身近な問題の相互理解は図れるが、その場で解決できることは限られる。</p> <p>また令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、実施希望団体が1件のみであった。基本的に多人数参加、室内での懇談形式による開催となるため、3密回避等、感染拡大防止を最優先とする状況下ではやむを得ない件数であったと考える。</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>事業趣旨の周知が必要となる。</p> <p>広報誌や市ホームページを活用し周知するほか、各種団体等に直接、働きかけていかなければならない。</p> <p>また、今後は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点からも感染対策を講じた方法で実施していきたい。</p>		

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
		<p>予算編成に記入 (3次公表時)</p>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	09 秘書広報一般管理事業											
事業担当	所属	03020000 市長公室 秘書広報課					所属長	濱田 亜希子				
会計情報	事業コード	820209	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	01 一般管理費	会計	01 一般会計	決算付属資料	頁
施策体系	施策コード	070101	施策名	時代のニーズに即応した行政経営の推進をする								
計画期間	開始年度	昭和63年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名							
根拠法令等	福知山市自治功労者表彰条例											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
R3現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合											
関連事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	市長、副市長の職務を円滑に遂行させ、市政運営の充実を図る。 表彰条例に基づき、市政発展に尽くされた方々を表彰し、長年にわたる功績をたたえる。											
対象者	市民 不特定多数の人々					対象者数	-		単位あたりコスト			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等												
事業概要 (箇条書き)	市長、副市長の対外公務をはじめ、職員との内部協議などのスケジュールの調整、管理。 市長、副市長出張時の随行業務、来客者等への対応、市長交際費の支出事務。 福知山市自治功労者表彰条例に基づく表彰業務。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容									
	二次公表時記載											

III 予算執行状況

区分	R1(評価前年度)	R2(評価年度)	R3(本年度)	R4(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	7,720	7,832	7,875	予算編成時記入 (3次公表時)
	② 補正予算	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	
小計(①～③)	7,720	7,832	7,875		
予算財源内訳	① 一般財源	7,720	7,832	7,875	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	△ 176	二次公表時記載	0	0
	② 配当予算	7,544	7,832	0	0
	③ 執行額	5,606	二次公表時記載	0	0
	④ 執行率	74.3%	二次公表時記載		
人概工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	2.25 / 0.00	2.49 / 0.00	2.49 / 0.00	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	18,000	19,920	19,920	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	23,606	19,920	19,920	0	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	市長交際費公表	回	12/12	12 / 12	12 / 12	/ 12	12
	表彰した自治功労者・有功者等	人	9/10	18 / 10	16 / 10	/ 10	10
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	式典開催回数	回	1/1	1 / 1	0 / 1	/ 1	1
	単位あたりコスト		696.6	640.8			
			/	0 / 0	/ 0	/	0
単位あたりコスト		0.0					

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	市長、副市長の公務調整をはじめとする秘書業務は、市の施策と直結している。被表彰者を称えることは、励みとなり一層の活躍をもたらすものと考えられる。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは適切な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	可能な限り出張時の面談・訪問先を同一方面で行えるように調整し、効率的なスケジュール管理に努めている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	公務内容の優先度をはかりながら、円滑な市政運営に努める必要がある。表彰業務は市民の市政への関心を高め、市民参画のまちづくりに繋がる。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>市長、副市長公務の適正な調整と管理が目的のため、公務の内容の重要度や緊急性を重視し、速やかに調整を図りながら円滑に進めていなければならない。</p> <p>表彰業務は、被表彰者等の更なる活躍とともに、市民参画のまちづくりにつなげる。自治功労者等表彰式典については、新型コロナウイルスの影響を鑑み、2年続けて中止することとなった。一方で、自治功労者、有功者等の表彰は個別に実施しており、被表彰者の功績を称えるという事業目的を達成しつつ、市民の安全性を守るための適切な判断と考える。今後も、感染の拡大状況を注視しつつ、開催可否等について慎重に判断していく。</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>多様化する市民ニーズに対応するため、公務内容の重要度や緊急性を重視し、調整を図りながら円滑にすすめていなければならない。また、理事者の政策立案、決定に費やす時間を安定的に確保していく必要がある。</p> <p>市民等を対象とした表彰は、市民の励みとなり、より一層の活躍をもたらすものと考えられる。早期に他課と連携を図り、表彰候補者の掘り起しが出来るよう努める。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	34 福知山PR戦略総合推進事業								
事業担当	所属	03020000 市長公室 秘書広報課				所属長	濱田 亜希子		
会計情報	事業コード	820134	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	14 諸費	
会計	01 一般会計	決算付属資料							頁
施策体系	施策コード	010104	施策名	適切な情報の発信と共有により市民参画を促進する					
計画期間	開始年度	平成29年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名	まち・ひと・しごと・あんしん創生総合戦略			
根拠法令等									
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()								
R3現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合								
関連事業									

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	福知山市外に対しては福知山市のイメージ向上と関係人口の拡大、市内に対してはシビック・プライド(まちへの愛着や誇り)醸成を目的に、パブリックリレーションズの手法を活用して、各ターゲットにあったPR活動を展開し、市のメッセージを届ける。当市とその活動に対する共感や具体的な行動を起こしてもらう人々を増やし、持続可能な地域経営を目指す。								
対象者	市民・不特定多数の人々			対象者数	—		単位あたりコスト		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	株式会社 井之上パブリックリレーションズ								
事業概要 (箇条書き)	○(テーマ)明智光秀 「明智光秀が築いた城下町 福知山」のブランドイメージを生かし、またこれまでの活動を通じて表れた福知山市に通底する「まちづくりへの挑戦心＝光秀マインド」をコンセプトにしたPR活動 ○(テーマ)鬼 アニメ作品の影響により「鬼」への関心が高まる今、大江地域の鬼文化を全国または世界に発信するためのPR活動 ○その他 戦略的情報発信 市政情報や市の特徴の中から「重点PR項目」を設定し、メディアリレーションズ及びプロモーションにより戦略的に全国発信								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容					二次公表時記載	

III 予算執行状況

区分	R1(評価前年度)	R2(評価年度)	R3(本年度)	R4(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	28,224	40,154	37,335	予算編成時記入 (3次公表時)
	② 補正予算	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	
小計(①～③)	28,224	40,154	37,335		
予算財源内訳	① 一般財源	52	0	0	
	② 国支出金	14,043	19,338	12,500	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	14,129	20,816	24,835	
決算情報	① 流充用額	0	二次公表時記載	0	
	② 配当予算	28,224	40,154	0	
	③ 執行額	27,816	二次公表時記載	0	
	④ 執行率	98.6%	二次公表時記載		
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	1.15 / 0.45	1.35 / 0.40	1.35 / 0.40	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	10,325	11,800	11,800	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	38,141	11,800	11,800	0	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
「明智光秀のまち福知山」都市圏の認知度(アンケート調査)		%	40.4	34.7 / 43	50.1 / 45	/ 45	45
	Instagram「#いがいと福知山」投稿件数	件	7311	12525 / 8000	18900 / 8800	/ 10000	8800
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	プレスリリース配信	件	10/10	22 / 10	42 / 10	/ 18	10
		単位あたりコスト	2099.6	1264.4			
	メディア記事掲載件数	回	207/150	307 / 300	400 / 200	/ 200	200
	単位あたりコスト	101.4	90.6				

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	まちの価値を高め、持続可能で発展性のあるまちを築くことが本事業の最終目的。第一歩として、自治体がまちの魅力を市内外に発信するシティプロモーションに率先して取り組んでいる。市内外のステークホルダーにまちの価値を認識してもらい、同時に意見やアイデアを幅広く取り入れ、良好な関係を築くことを目標としている。結果、各ステークホルダーの意識や行動の変容につながり、本事業のみならず本市の施策の価値を最大化することで、目的に到達するロードマップを描いている。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	民間PR会社へ業務委託することで、PR活動のクオリティの向上、効果的なメディア掲載など最短距離で成果が見込める。また委託だけではなく、「本能寺の変プロジェクト」など市役所の直営企画も数多く行い、コストを増やさずに多くの成果をあげるよう努めている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	PR活動に伴うプレスリリース配信とメディア記事掲載という活動実績を通して、各ステークホルダーが触れるまちの情報量と質を向上させることで、まちの認知度・イメージ向上や、具体的な行動という成果に結びつくよう設計している。過去3年間のシティプロモーション活動で市役所内に蓄積された経験値を發揮し、同時に市役所にはないPR委託事業者ならではのノウハウやネットワーク、その他外部資源を積極的に取り入れた。結果、PR活動の量と質が向上し、複数のPR活動が全国的な話題となった。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>福知山ゆかりの武将・明智光秀が主人公の大河ドラマ放送を契機に、平成30年度～令和2年度までを重点PR活動期間と位置づけ、明智光秀をテーマに戦略的なPR活動を行った。コロナ禍でも柔軟に計画を変更し、大きな成果を上げられた。特筆すべきは、オンライン企画「本能寺の変プロジェクト2020」。参加型企画では全国・海外から3万以上の応募があった。クラウドファンディング型ふるさと納税では3449人から約1.1千万円の寄附をいただいた。(寄附金は、光秀ミュージアム展示の福知山城移設、福知山城HP、光秀オンラインイベントなどに活用。)これら一連の活動が評価され、4つのアワードを受賞。全国広報コンクール広報企画部門で全国トップとなる「特選・総務大臣賞」のほか、民間団体と並びCAMPFIREクラウドファンディングアワードとPRアワードグランプリで入賞するなど、全国的に評価を得た。このほか、福知山城公式サイトの開設や特別大使クリス・ペブラーさんがナレーションを務める動画「明智光秀マインド」を公開するなど、オンラインを活用したPR活動を行い多くの資産を残した。</p> <p>記事掲載件数では、他市の事例は、大河ドラマ開始年度が最多、終了年度は大幅に減少する傾向がある。一方、福知山市では、PR事業に関する記事掲載件数では、大河ドラマ開始年度(R1)→終了年度(R2)で前年比約130%を記録。制約の多い状況でも大河イヤーの集大成にふさわしい活動実績を残した。</p> <p>成果としては、平成30年度から継続してきた都市圏におけるイメージ調査で「光秀ゆかりのまち福知山」の認知度が増加。またまちのイメージとして「福知山線脱線事故」が減少、「明智光秀」が増加した。また、まちのファンクラブ会員やまちの魅力発信を行う市民が増加し、ふるさと納税や採用試験などでも波及効果が表れている。</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>令和2年度は、大河ドラマ「麒麟がくる」の放送を契機として、コロナ禍の中でもPR活動を行い「明智光秀が築いた城下町」ブランドを築くことができた。</p> <p>令和3年度はこれまでの活動を通じて表れた福知山市に通底する「まちづくりの挑戦心＝光秀マインド」をコンセプトにしたPR活動に発展させるとともに、光秀に加え大江山の鬼伝説といった地域の多様な資源を活用し、シビックプライドの醸成と関係人口・交流人口の拡大を図っていく。</p> <p>また、シティプロモーションを通じて得られたパブリックリレーションズ(PR)のノウハウを全庁的に広げ、本市の魅力を伝えるとともに、各施策の理解を促進し効果を最大化する。</p> <p>課題としては、PRIは社会情勢に強く影響されるため、社会とのコミュニケーションを図り、今立てている計画も臨機応変に変更して、最も効果的なPR活動を選択し実施していくことが求められる。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	09 市政案内事業											
事業担当	所属	03020000 市長公室 秘書広報課				所属長	濱田 亜希子					
会計情報	事業コード	820109	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	02 文書広報費	会計	01 一般会計	決算付属資料	頁
施策体系	施策コード	010104	施策名	適切な情報の発信と共有により市民参画を促進する								
計画期間	開始年度	昭和63年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名	-						
根拠法令等	-											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
R3現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合											
関連事業	-											

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	広域的な情報発信の手段であるテレビ・ラジオ・新聞広告などを活用し、市民等に細やかで丁寧な情報提供を行うことで、福知山市政への理解と信頼を深める。											
対象者	市民・不特定多数の人々				対象者数	-		単位あたりコスト				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	京都FM丹波放送(株)											
事業概要 (箇条書き)	・毎週月曜日から金曜日の5日間、ラジオによる市政情報を発信。 ・自治会で市政の周知広報物や自治会運営を円滑にするために活用できる広報掲示板の修繕等を実施(10件)											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)		主な業務内容								
	二次公表時記載											

III 予算執行状況

区分	R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	1,448	1,461	1,447	予算編成時記入 (3次公表時)			
	② 補正予算	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0				
小計(①～③)	1,448	1,461	1,447					
予算財源内訳	① 一般財源	1,448	1,461	1,447				
	② 国支出金	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	97	二次公表時記載	0	0			
	② 配当予算	1,545	1,461	0	0			
	③ 執行額	1,545	二次公表時記載	0	0			
	④ 執行率	100.0%	二次公表時記載					
人環工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.06 / 0.00	0.03 / 0.00	0.03 / 0.00	0.00 / 0.00			
	② 概算人件費	480	240	240	0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	2,025	240	240	0				

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
				/	0 / 0	/ 0	/
			0	0 / 0	/ 0	/	0
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
			-	0 / 0	/ 0	/	0
	単位あたりコスト		-				
	FM放送「市政情報」(月から金曜日週5日)	回	261/261	261 / 261	261 / 261	/	261
	単位あたりコスト		5.7	5.9			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	ラジオなどメディアを通じ広報することは、広く市民や市内外の人に市政情報を届けることにつながり、市民と情報を共有するための手段のひとつとして必要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	業務を専門業者に任せることで、効果的・効率的で精度の高い広報となり得る。広報掲示板の修繕にあたって、内容を精査し優先順位をつけ、限られた予算で効率的に実施している。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	ラジオなどメディアを通じた広報は、市民にきめ細かく市政の情報を伝達する手段として非常に有効なものである。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	ラジオや自治会に設置してある広報掲示板、新聞広告などにより、市民にきめ細かく市政の情報を伝達する有効な手段であり、今後も広く活用していく必要がある。 市民への情報提供手段の一つとして、ラジオを活用し、市内の不特定多数の方に市政情報をほぼ毎日(土日除く)発信する体制整備ができています。また、契約しているFM丹波においてラジオ放送だけでなく、独自のホームページやSNS(フェイスブックやツイッター)での情報提供もあわせて実施いたしており、市民の方だけでなく、不特定多数の方が市政情報を取得することが可能となっている。		
これまでの課題及び今後の方向性	広報掲示板を設置している自治会に、活用状況についてアンケートを実施(H30年度)した結果、今後も活用すると回答された自治会が約80%であったことから、今後も引き続き、各自治会に応じた活用を行う。また、市政情報の掲示回数が少ないことから、利用回数の増加を図る。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
		予算編成に記入(3次公表時)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	07 ホームページ運営事業											
事業担当	所属	03020000 市長公室 秘書広報課					所属長	濱田 亜希子				
会計情報	事業コード	820107	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	02 文書広報費	会計	01 一般会計	決算付属資料	頁
施策体系	施策コード	010104	施策名	適切な情報の発信と共有により市民参画を促進する								
計画期間	開始年度	平成13年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名	第6次福知山市行政改革実施計画						
根拠法令等	-											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
R3現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合											
関連事業	-											

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	本市のリアルタイムな情報を発信し、市民サービスを充実するとともに、本市の魅力を広くPRする。さらには、災害など有事の際に、迅速、的確な情報を伝えることで、市民の安心・安全な暮らしを確保する。											
対象者	市民・不特定多数の人々					対象者数	-		単位あたりコスト			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	福泉(株)											
事業概要 (箇条書き)	・各担当課によるホームページの更新 ・新型コロナウイルス感染症関連情報の迅速・適切な発信 ・LINE、フェイスブック、インスタグラム、ツイッターによる情報発信											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容									
	二次公表時記載											

III 予算執行状況

区分	R1(評価前年度)	R2(評価年度)	R3(本年度)	R4(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	839	836	1,054	予算編成時記入 (3次公表時)
	② 補正予算	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	
	小計(①～③)	839	836	1,054	
予算財源内訳	① 一般財源	0	119	359	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	839	717	695	
決算情報	① 流充用額	△ 11	二次公表時記載	0	0
	② 配当予算	828	836	0	0
	③ 執行額	828	二次公表時記載	0	0
	④ 執行率	100.0%	二次公表時記載		
人機工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.57 / 0.00	0.56 / 0.00	0.56 / 0.00	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	4,560	4,480	4,480	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	5,388	4,480	4,480	0	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	アクセス件数(月平均)	件	87,960/80,000	131565 / 80000	361504 / 80000	/ 150000	80000
			0	0 / 0	/ 0	0	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	掲載件数	件	1117/900	2115 / 900	2606 / 900	/ 900	900
	単位あたりコスト		0.8	0.4			
			/	0 / 0	/ 0	/	0
	単位あたりコスト		0.0				

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	本市の情報・魅力を全国発信することができ、災害発生など緊急時には、迅速、的確に情報を市民に伝えるための必要不可欠な情報伝達手段となっている。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	専門的な保守点検管理業務を委託することで、システム障害の回避や常時の動作確認、新コンテンツの作成にかかる人件費を抑制している。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	ホームページを運用することで、タイムリーな市政情報を地域を限定することなく広く発信し、PRすることができる。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	平成31年2月28日にホームページをリニューアルし、今まで以上に利用者の利便性向上と事務の効率化を図り、広く市内外に本市の情報発信できる環境を整備した。また、災害時には専用のトップページに切り替え、アクセスが集中しても継続して情報発信することが可能となった。令和元年度において、各担当課がホームページを作成し、秘書広報課で管理等を行いながら、的確な情報発信に努めている。また、ホームページリニューアル時に、議会事務局、市民病院、上下水道部のHPを市HPに統合、さらに令和元年度において消防のHPを統合することで、経費の削減を図った。令和2年度においても、新型コロナウイルス関連情報など市民が求める情報をホームページを中心に各SNSも活用し、迅速、的確に発信することができた。		
これまでの課題及び今後の方向性	インターネット上での福知山市の顔となるホームページは、魅力的で、見やすく分かりやすい、更にはリアルタイムで情報の更新を行っていくことが重要である。ホームページリニューアルにより、各所属で情報の更新を行える体制を構築した。市職員全てが情報発信者となって、市民、全国、世界の方々へタイムリーな話題を提供していくことが重要である。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
		予算編成に記入(3次公表時)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	06 広報ふくちやま発行事業											
事業担当	所属	03020000 市長公室 秘書広報課					所属長	濱田 亜希子				
会計情報	事業コード	820106	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	02 文書広報費	会計	01 一般会計	決算付属資料	頁
施策体系	施策コード	010104	施策名	適切な情報の発信と共有により市民参画を促進する								
計画期間	開始年度	昭和63年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名	-						
根拠法令等	-											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
R3現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合											
関連事業	-											

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	市民の暮らしに役立つ広報誌として、市政情報などをお知らせし理解や協力を得るほか、行政からの一方的な情報提供にとどまらず、市民生活の様子や、地域づくりに積極的に取り組んでいる団体やグループ、個人などにもスポットを当てて掲載し、市民参加の機会を増やす。											
対象者	市民・不特定多数の人々					対象者数	-		単位あたりコスト			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	(株)北星社											
事業概要 (箇条書き)	・毎月1回32,900部を発行 ・決算・予算特集号の発行 ・広報誌のデジタル化											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容									
	二次公表時記載											

III 予算執行状況

区分	R1(評価前年度)	R2(評価年度)	R3(本年度)	R4(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	14,310	14,429	16,034	予算編成時記入 (3次公表時)
	② 補正予算	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	
	小計(①~③)	14,310	14,429	16,034	
予算財源内訳	① 一般財源	13,399	13,901	15,500	
	② 国支出金	0	0	6	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	911	528	528	
決算情報	① 流充用額	92	二次公表時記載	0	0
	② 配当予算	14,402	14,429	0	0
	③ 執行額	14,362	二次公表時記載	0	0
	④ 執行率	99.7%	二次公表時記載		
人機工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.92 / 0.00	0.96 / 0.00	0.96 / 0.00	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	7,360	7,680	7,680	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	21,722	7,680	7,680	0	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	毎号読んでいる割合(アンケート調査)	%	65/67	64 / 70	68 / 70	/ 70	70
			0	0 / 0	/ 0	/	0
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	発行部数(月単位)	冊	32,900/32,900	32900 / 32900	32900 / 32900	/ 32900	32900
	単位あたりコスト		0.4	0.4			
			/	0 / 0	/ 0	/	0
	単位あたりコスト		0.0				

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	市民の暮らしにかかわりの深い事柄や生涯学習、健康、福祉等の催事についての行政情報を市民に伝えるために必要である。また、単なる情報のお知らせではなく、「このまちをもっと好きになる」をテーマに、市が市民に伝えたいこと、知ってほしいこと、考えてほしいことを題材に行政施策への理解と市民がまちのことを知ることで愛着心を養い、市民参加を促すきっかけとして重要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	市からのお知らせを広報誌に集約することで、各部署の業務の省力化やコストの削減に努めている。また、有料広告の掲載により、広報誌発行の財源確保に努めている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	市民の76%が広報ふくちやまで情報を得ており、きめ細かく市政の情報を伝達する手段として非常に有効なものである。また、編集においては他の先進自治体の広報誌を分析しながら、市民が読みたくなるような紙面づくりを重視している。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>毎年度1回実施する広報アンケートの結果では、「毎月読んでいる」と答えた人が昨年度64%から68%と増加。また、「広報ふくちやまは読みやすいか」という設問に対し、「読みやすい、まあまあ読みやすい」と答えた人も昨年度65.7%から67.5%に増加した。 ※令和3年度全国広報コンクール 広報写真 一枚写真の部:総務大臣賞(特選:全国1位) 令和2年度京都広報賞 広報紙の部:知事賞受賞(府内1位)、写真の部(一枚写真):知事賞受賞(府内1位)、写真の部(組み写真):知事賞受賞(府内1位) 令和2年度京都広報賞 府民賞受賞</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>まだ高齢の読者が多いなか、若年層が開けてみたくなる内容や仕掛けを心がける。 また、ホームページともSNSとも異なる、紙媒体だからできることを研究し、施策理解や活動への参加のきっかけづくりを目指す。 オープンデータ化し、ホームページでウェブブック化しているほか、民間事業者が運営する情報サイト「KYOTO eBOOKS」「マチイロ」「マイ広報誌」でも掲載し、PCやスマートフォンなどから広報を見てもらえるよう展開しているが、引き続き、どこでも広報を読んでもらえる環境を整えるとともに、SNSやホームページ、シティプロモーション活動などと連携させ、多面的な情報発信を目指す。 引き続き広報関連の賞にも積極的に参加し、広告価値を高める。そのために、紙面レイアウトや色使いなどを改善し、「読む価値のある広報誌」としてのブランディングを進める。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	05 広報一般管理事業											
事業担当	所属	03020000 市長公室 秘書広報課					所属長	濱田 亜希子				
会計情報	事業コード	820105	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	02 文書広報費	会計	01 一般会計	決算付属資料	頁
施策体系	施策コード	010104	施策名	適切な情報の発信と共有により市民参画を促進する								
計画期間	開始年度	昭和63年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名	-						
根拠法令等	-											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
R3現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合											
関連事業	-											

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	市の広報媒体に限らず、報道機関(新聞、テレビ、ラジオ)への露出を増やし、市民の暮らしにかかわりの深い事柄や生涯学習、健康、福祉等の催事についての行政情報を確実に市民に伝える。											
対象者	市民・不特定多数の人々					対象者数	-		単位あたりコスト			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等												
事業概要 (箇条書き)	・毎月1回の市長記者会見や記者レクチャーによる報道機関への情報提供。 ・報道機関へ広報カードによる本市の活動、制度、催事を宣伝。(毎日)											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容									
	二次公表時記載											

III 予算執行状況

区分	R1(評価前年度)	R2(評価年度)	R3(本年度)	R4(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	605	567	531	予算編成時記入 (3次公表時)
	② 補正予算	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	
	小計(①～③)	605	567	531	
予算財源内訳	① 一般財源	0	566	530	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	605	1	1	
決算情報	① 流充用額	△ 40	二次公表時記載	0	0
	② 配当予算	565	567	0	0
	③ 執行額	554	二次公表時記載	0	0
	④ 執行率	98.1%	二次公表時記載		
人環工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	1.09 / 0.00	1.04 / 0.00	1.04 / 0.00	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	8,720	8,320	8,320	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	9,274	8,320	8,320	0	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	福知山市名の新聞掲載件数(両面除く)	件	6,949/5,500	6777 / 5500	4999 / 5500	/ 5500	5500
			0	/ 0	/ 0	/	0
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	記者会見・記者レク案件数	件	45 / 25	56 / 25	30 / 25	/ 25	25
	単位あたりコスト		16.6	9.9			
	広報カード発信件数(投入資料等除く)	件	2,026/2,200	1897 / 2200	1514 / 2200	/ 2200	2200
	単位あたりコスト		0.4	0.3			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	行政情報を報道機関を通じて発信し、市民と行政が情報を共有したり、市政を広くPRするために必要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	報道機関を通じての情報発信は、記者会見や広報カードの資料の準備・作成費用であるため、コスト面では非常に効率的である。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	広く市政情報を伝達する手段として、報道機関への情報提供は非常に有効なものである。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	報道機関を通じた情報発信は、速報性や経済性に優れ市民への浸透性も高いといった特性がある。報道するかどうかの決定権は常に報道機関側にあるが、今後においても積極的にタイミングを意識した公表に努めていく。更に記者の目に止まりやすく、記事や番組で取上げてもらいやすいアピール度の高い資料を作成するなどの工夫を行うとともに、日頃から報道機関との良好な関係構築に努める。		
これまでの課題及び今後の方向性	行政からの一方的なお知らせにならないよう、効果的な情報発信方法であるパブリックリレーションズの考えに基づいた発信が市全体で行えるよう、研修などを通じて職員の意識を高めるなどの取組みを継続していく必要がある。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
		予算編成に記入 (3次公表時)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 廃止/休止	<input type="checkbox"/> 予算拡充	<input type="checkbox"/> 予算縮減
	<input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:)		<input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)	

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	60 ふくちやまサポーター拡大事業											
事業担当	所属	03020000 市長公室 秘書広報課					所属長	濱田 亜希子				
会計情報	事業コード	810560	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	14 諸費	会計	01 一般会計	決算付属資料	頁
施策体系	施策コード	070102	施策名	持続可能な財政基盤を構築する								
計画期間	開始年度	平成20年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名	第6次行政改革実施計画No.85						
根拠法令等	地方税法等											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
R3現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合											
関連事業	-											

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	人口減少や都市圏への人口集中が加速するなか、市民の力や市外の方の力を活かしたまちづくりを進めていくため、多様な形で関わっていただく方々(関係人口)を増やすことが重要となっている。そこで関係人口の拡大を進めるため、地域の魅力やふるさと納税などの情報を発信して、福知山市に魅力を感じ、継続的に応援していただける方々の拡大を図る。											
対象者	市外居住者	対象者数	-	単位あたりコスト								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	(株)さとふる、楽天(株)、(株)トラストバンク、(株)ROOTs											
事業概要 (箇条書き)	・「いがいと！福知山ファンクラブ」会員の募集 ・新規ふるさと納税返礼品事業者の獲得 ・新規返礼品の獲得 ・ふるさと納税サイトの追加 ・「いがいと！福知山ファンクラブ」会員への本市の魅力情報を情報発信(ダイレクトメールによる)											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容									
	二次公表時記載											

III 予算執行状況

区分	R1(評価前年度)	R2(評価年度)	R3(本年度)	R4(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	206,539	193,463	285,177	予算編成時記入 (3次公表時)
	② 補正予算	45,000	178,450	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	
	小計(①～③)	251,539	371,913	285,177	
予算財源内訳	① 一般財源	76,197	117,605	94,880	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	175,342	254,308	190,297	
決算情報	① 流充用額	0	二次公表時記載	0	0
	② 配当予算	251,539	371,913	0	0
	③ 執行額	231,305	二次公表時記載	0	0
	④ 執行率	92.0%	二次公表時記載		
人機工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.62 / 0.65	0.63 / 0.50	0.63 / 0.50	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	6,585	6,290	6,290	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	237,890	6,290	6,290	0	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H30		R1		R2		R3		最終目標
			実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	
	会員登録者数	人	275	500	537	750	3118	1000		3500	1000
	ふるさと納税額目標達成率	%	61.6		133.2	100	201.3	100		100	100
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H30		R1		R2		R3		最終目標
	ふるさと納税サイト活用件数	件	-		3	3	4	3		3	
	単位あたりコスト		-		77101.8						
	会員登録に関する情報提供回数	回	5/10		5	10	13	10		10	10
単位あたりコスト		-		46261.1							

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	関係人口拡大に向けた取り組みとして、ふるさと納税制度も活用しながら、福知山を応援して下さる「いがいと！福知山ファンクラブ」会員を増やすことは必要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	多くの方々(令和2年度寄附件数:約17,000件)からの寄附に関連する事務(寄附収納、返礼品送付、寄附者窓口対応、返礼品提供事業者との連携など)に対応することは困難であり、民間のノウハウを活かして業務委託することは効率的である。また、ふるさと納税寄附者に「いがいと！福知山ファンクラブ」会員加入の案内をすることで、関係人口拡大を見込むことが可能となっている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	ふるさと納税で福知山に寄附いただいた多くの方々(寄附件数:約17,000件)に、「いがいと！福知山ファンクラブ」会員への勧誘活動は、福知山市の取組みや特産などを支援しようと寄附いただいた方であり、有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>ふるさと納税では、平成28年度に民間事業者(さとふる)の活用により寄附者がアクセスしやすい環境整備をしたことで寄附件数、寄附額とも一定数を確保できている。第6次行革実施計画では、平成28年から平成32年までに一般財源ベースで46,571千円確保する目標であったが、平成29年度で達成している。また、平成30年度からガバメント・クラウドファンディングにも取り組んでいる。</p> <p>令和2年度では、返礼品・返礼品提供事業者の増加取組み(大河ドラマ関連商品開発、高齢者見守りサービス、空き家管理サービスなどの商品開発)や、大河ドラマ放送による福知山の認知度アップ、さらには、全国的な傾向である新型コロナウイルスの影響による巣ごもり需要により、過去最高の寄附額261,000千円を集めた。</p> <p>また、企業版ふるさと納税では、企業訪問等により、平成29・30年度で1社から、令和元年度で2社、令和2年度で1社からの寄附実績があった。このようにふるさと納税を活用した、福知山を応援いただく方が増えたことにより、「いがいと！福知山ファンクラブ」会員の増加にも繋がった。「いがいと！福知山ファンクラブ」会員について、会員特典クーポンの発送を廃止し、令和元年度より新たに福知山の魅力が描かれたオリジナル会員証を発行している。令和2年度では、人気ゲームのイケメン戦国「明智光秀」(いがいと！福知山PR武将)の会員証を発行したことで、「いがいと！福知山ファンクラブ」会員が3,118人と昨年度の約6倍もの増加となり、多くの方に福知山の魅力を発信し、良い関係構築に努めている。</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>ふるさと納税サイトを活用し本市の魅力を発信したことで、目標を達成し、過去最高の寄附額を集めたこと、また、「いがいと！福知山ファンクラブ」会員が増加したことは、評価できる。今後、ふるさと納税サイトの追加などにより寄附金確保の体制を強化するとともに、継続的に福知山市を応援いただける関係人口の増加に努める。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	42 大河ドラマ「麒麟がくる」推進事業												
事業担当	所属	03020000 市長公室 秘書広報課					所属長	濱田 亜希子					
会計情報	事業コード	230142	款	07 商工費	項	01 商工費	目	03 観光費	会計	01 一般会計	決算付属資料		頁
施策体系	施策コード	060301	施策名	観光客の増加を促進する									
計画期間	開始年度	平成23年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名								
根拠法令等													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (府・他市協調実施)												
R3現在の状況	<input type="checkbox"/> 継続中 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	2020年の大河ドラマが戦国武将明智光秀を主人公にした「麒麟がくる」に決定したことを受け、明智光秀・細川ガラシャ・幽斎・忠興にゆかりの地域で連携して当地域の文化や情報を発信し地域の活性化を図る。											
対象者	観光客及び市民	対象者数	—	単位あたりコスト								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	大河ドラマ「麒麟がくる」推進協議会											
事業概要 (箇条書き)	大河ドラマ「麒麟がくる」推進協議会への負担金 【大河ドラマ「麒麟がくる」推進協議会】構成市町：福知山市（事務局）、舞鶴市、綾部市、宮津市、亀岡市、長岡京市、京丹後市、大山崎町、丹波市、丹波篠山市、若狭町、京都府 事業概要：平成23年度から明智光秀などにゆかりのある12の府市町（H29から事務局福知山市）が連携し、地域の自然や歴史文化を全国に発信し、観光振興と地域経済の活性化に寄与することを目的にNHKへの要望活動や署名、先進地視察、首都圏等各地でのプロモーション活動を実施。平成30年5月に明智光秀を主人公とする2020年大河ドラマ「麒麟がくる」が決定。以降は、大河ドラマの放送を契機として、各種イベント出展・広告出稿による圏域情報の発信、ファムトリップや商談会等を通じた旅行者・メディア向けアプローチ、NHK京都放送局との連携によるスマホdeスタンプラリーの実施、HP・SNSによる情報発信など、広域連携の強みを活かした観光振興と地域活性化に向けた活動を実施。大河ドラマ「麒麟がくる」推進協議会は令和3年3月で解散。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容									
	二次公表時記載											

III 予算執行状況

区分	R1(評価前年度)	R2(評価年度)	R3(本年度)	R4(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	1,134	1,091	0	予算編成時記入 (3次公表時)
	② 補正予算	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	
小計(①～③)	1,134	1,091	0		
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	1,134	1,091	0	
決算情報	① 流充用額	0	二次公表時記載	0	0
	② 配当予算	1,134	1,091	0	0
	③ 執行額	920	二次公表時記載	0	0
	④ 執行率	81.1%	二次公表時記載		
人機工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	1.05 / 0.70	0.90 / 0.70	0.90 / 0.70	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	10,150	8,950	8,950	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	11,070	8,950	8,950	0	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
スタンプラリー「福知山光秀ゆかりコース」参加者数	指標	人	0	595 / 1740	1756 / 5260	/	7000
	署名人数	人	296/3,000	— / —	— / —	/	—
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	大河ドラマPRキャンペーン数(市内)	回	9/10	7 / 10	10 / 10	/	10
	単位あたりコスト		108.0	131.4			
	署名箱設置箇所数(市内)	箇所	13/15	— / —	— / —	/	—
単位あたりコスト		74.8					

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	これまでの大河ドラマゆかりの地においては、多くの観光客の来訪があり、地域経済が活性化したことから、本市においてもこの千載一遇の機会を最大限活かし、大河ドラマ効果を本市産業・商業の発展につなげる必要がある。平成23年から誘致活動を続け、その成果が2020年大河ドラマ「麒麟がくる」につながった。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	各市町が単独で情報発信や誘客活動を行うより、大河ドラマゆかりの地が広域連携することや、各地域においても商工・観光関係団体と連携することによりそれぞれが持つネットワークを活用した情報発信など効率的な事業展開が図れる。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	大河ドラマゆかりの市町が連携することで、大河ドラマの放送元であるNHKとの連携につながり、より効果的な取り組みを展開することができる。協議会を通じた情報発信・誘客活動によって、観光入込客数を増加させ経済効果を市内に波及することができる。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>明智光秀を主人公とする2020年大河ドラマ「麒麟がくる」が決定して以降は、大河ドラマの放送を契機として、各種イベント出展・広告出稿による圏域情報の発信、ファミトリップや商談会等を通じた旅行者・メディア向けアプローチ、NHK京都放送局との連携事業、HP・SNSによる情報発信など、広域連携の強みを活かした観光振興と地域活性化に向けた活動を実施。令和2年度は新型コロナウイルスの影響を受けたもののSNS等を活用した情報発信等により本市の歴史文化を発信した。協議会設立から10年間に渡る取り組みを通じて所期の目的を達成することができたと評価する。大河ドラマ「麒麟がくる」推進協議会は令和3年3月に解散。</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>大河ドラマ誘致による地域活性化という目的に向かって京都・兵庫・福井の12もの府市町の行政・商工観光団体等が団結した枠組みは有意義だった。今後についても、明智光秀・細川ガラシャ・幽斎・忠興、また、大河ドラマゆかりの地域として、これまで培ってきたノウハウやネットワークを活かし、プロモーション活動やイベント、情報発信などで相互連携を継続することが重要である。大河ドラマの効果を一過性にする事なく、4名ゆかりの地として引き続き広域で連携した取り組みを実践に移せるかが課題となる。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
		予算編成に記入(3次公表時)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	18 福知山光秀プロジェクト推進事業											
事業担当	所属	03020000 市長公室 秘書広報課						所属長	濱田 亜希子			
会計情報	事業コード	230118	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	14 諸費	会計	01 一般会計	決算付属資料	頁
施策体系	施策コード	060301	施策名	観光客の増加を促進する								
計画期間	開始年度	平成30年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名							
根拠法令等												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
R3現在の状況	<input type="checkbox"/> 継続中 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合											
関連事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	2020年の大河ドラマ「麒麟がくる」の放送を契機に、明智光秀ゆかりの地 福知山市の歴史・文化を全国に発信するとともに、観光誘客による産業・商業の活性化を図り、市民が主人公となったまちづくりを進める。										
対象者	観光客及び市民	対象者数	—		単位あたりコスト						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	福知山光秀プロジェクト推進協議会										
事業概要 (箇条書き)	平成30年9月に設立された「福知山光秀プロジェクト推進協議会」が実施する下記事業への負担金 ・福知山光秀ミュージアム整備運営 ・広報・PR ・団体連携 ・土産物販売所設置運営 等 福知山光秀ミュージアムは令和3年2月7日で閉館、目標100,000人に対しコロナ禍でありながら91,400人の実績。 福知山光秀プロジェクト推進協議会は令和3年3月で解散。										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容								
	二次公表時記載										

III 予算執行状況

区分	R1(評価前年度)	R2(評価年度)	R3(本年度)	R4(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	103,163	144,137	0	予算編成時記入 (3次公表時)
	② 補正予算	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	
	小計(①～③)	103,163	144,137	0	
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	
	② 国支出金	47,332	50,366	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	4,500	0	0	
	⑤ その他特財	51,331	93,771	0	
決算情報	① 流充用額	0	二次公表時記載	0	0
	② 配当予算	103,163	144,137	0	0
	③ 執行額	102,629	二次公表時記載	0	0
	④ 執行率	99.5%	二次公表時記載		
人環工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	1.80 / 0.35	1.65 / 0.35	1.65 / 0.35	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	15,275	14,075	14,075	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	117,904	14,075	14,075	0	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標	
	観光入込客数	人	927,086/980,000	1116577 / 1000000	892414 / 1000000	/	—	1000000
福知山光秀ミュージアム入館者数	人	0	22660 / 23100	68740 / 76900	/	—	100000	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標	
	実行委員会開催回数	回	8	10 / 12	3 / 10	/	—	10
	単位あたりコスト		231.8	10262.9				
	団体連携件数(光秀PJ補助金)	件	—	11 / 17	1 / 9	/	—	26
単位あたりコスト		0.0	9329.9					

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	これまでの大河ドラマゆかりの地においては、多くの観光客の来訪があり、地域経済が活性化したことから、本市においてもこの千載一遇の機会を最大限活かし、大河ドラマ効果を本市産業・商業の発展につなげる必要がある。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	先進事例を踏まえ、行政だけでなく、事業者や商業団体等と連携して事業を推進するため「福知山光秀プロジェクト推進協議会」を設立した。また、大河ドラマ館の運営実績がある民間事業所から事務局長を招聘し、旅行者等とのパイプを活かした情報発信など効率的な事業実施に努めている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	福知山光秀ミュージアム入館者数100,000人を実現するため、観光入込客数の増加、市域経済への波及効果につながる事業を展開。NHK京都放送局、地域の関係団体等との連携を図り、明智光秀を学ぶ連続講座や交通・宿泊・飲食事業者を対象としたおもてなし講座を開催した。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	2020年1月の大河ドラマ「麒麟がくる」の放送開始後は福知山光秀ミュージアムを開館し、団体客・個人客の誘客に取り組み、目標入館者数100,000人に向けて想定を上回るペースで推移していたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、令和2年3月11日～5月末まで臨時休館、令和3年1月14日からは京都府緊急事態宣言発令と厳しい状況下ではあったが、最終入館者数91,400人、目標に対しての達成割合91.4%と他のドラマ関連施設と比べ善戦。また、オンライン講演会の実施などコロナ禍に対応した情報発信にも努めた。大河ドラマ紀行では、福知山城、福知山踊り、最終回には御霊神社で幕を閉じ、光秀が今も息づくまちとして紹介されるなど明智光秀ゆかりの地としての情報発信の成果が現れたものと評価している。		
これまでの課題及び今後の方向性	大河イヤーについては、新型コロナの影響から実際の誘客には結びつかなかったことが課題として残る。コロナが落ち着いたら訪れてみたいと思っている層のつなぎ止めや実際の来福を促す仕掛けが必要となる。本市の明智光秀ゆかりのまちとしてのイメージは高まっており、この好機を活かし令和3年度以降も明智光秀が染いた城下町ブランドを強化するとともに、市内事業者・団体等が本協議会活動を通じて培った土産物開発や観光客おもてなし等のノウハウをウィズコロナ社会におけるアフター大河の観光振興、地域活性化につながる取り組みに展開できるよう支援に努める。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
		予算編成に記入(3次公表時)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

I 事業属性

事業名	12 姉妹都市交流促進事業											
事業担当	所属	03020000 市長公室 秘書広報課						所属長	濱田 亜希子			
会計情報	事業コード	130112	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	14 諸費	会計	01 一般会計	決算付属資料	頁
施策体系	施策コード	020702	施策名	多様な文化交流を推進する								
計画期間	開始年度	昭和58年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名							
根拠法令等												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
R3現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合											
関連事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	行政間だけの交流にとどまることなく、市民ぐるみで人・物の交流を促進し、島原市との友好の絆を深める											
対象者	福知山市民 島原市民						対象者数	121,266	単位あたりコスト	0.0		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等												
事業概要 (箇条書き)	福知山マラソン会場において「島原物産展」を開催 「提携記念日行事(巡回パネル展等)」の実施 うまいもの展、スイーツフェスティバル等イベントでの島原物産展の開催											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容									
	二次公表時記載											

III 予算執行状況

区分	R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	199	197	184	予算編成時記入 (3次公表時)			
	② 補正予算	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0				
	小計(①~③)	199	197	184				
予算財源内訳	① 一般財源	199	197	184				
	② 国支出金	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	0	二次公表時記載	0	0	0	0	
	② 配当予算	199	197	0	0	0	0	
	③ 執行額	98	二次公表時記載	0	0	0	0	
	④ 執行率	49.2%	二次公表時記載					
人機工算	① 従事職員数 (正職員+嘱託職員)	0.22 / 0.00	0.11 / 0.00	0.11 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00	
	② 概算人件費	1,760	880	880	0	0	0	
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	1,858	880	880	0	0	0	0	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	物産展来場者	人	3000 / 3000	3000 / 3000	0 / 3000	3000	3000
			0 / 0	0 / 0	0	0	0
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	物産展等の開催	回	3 / 5	3 / 5	0 / 2	2	5
	単位あたりコスト		33.7	32.6			
	単位あたりコスト		0.0	0 / 0	0 / 0	0	0

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	姉妹都市締結に基づき相互の理解や友好を深めながら実施・継続してきた事業である。今後もこの絆を守り継続していく必要がある。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	効率よく有効に事業が実施できるよう、島原市からの協力を得ている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	物産展はコロナ禍で令和2年度は開催することができなかったが、今までの継続実施により島原市の特産品は認知度もあり好評である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	人や物を介して友好交流を内外に発信する機会を考える必要がある。		
これまでの課題及び今後の方向性	島原市との姉妹都市提携は、当時の市民の熱い思いのもと結ばれたものであり、現在も市内各種団体による相互交流が続けられている。一部の限られた人々の交流に留まることのないよう、市民に姉妹都市島原市への愛着と友好の思いを持ってもらえるような事業展開をすることが課題である。現在、物産展やパネル展等を実施しているが、事業の中で、姉妹都市島原市に興味と愛着を持っていただくための見せ方、「PR」方法に工夫を凝らしていきたい。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--